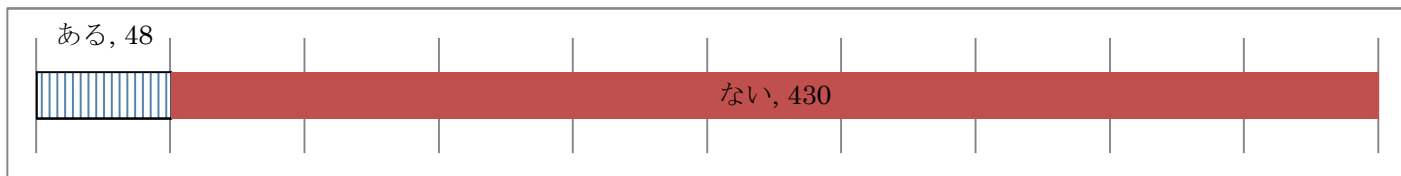


17. 水産市場では、魚食普及事業の一環として、鮮魚店やスーパーで魚を買くと、スタンプがもらえ、そのスタンプを5つ集めて応募すると、抽選で鮮魚や商品券等の景品が当たるポイント事業を毎年秋に実施しています。このことについてお尋ねします。

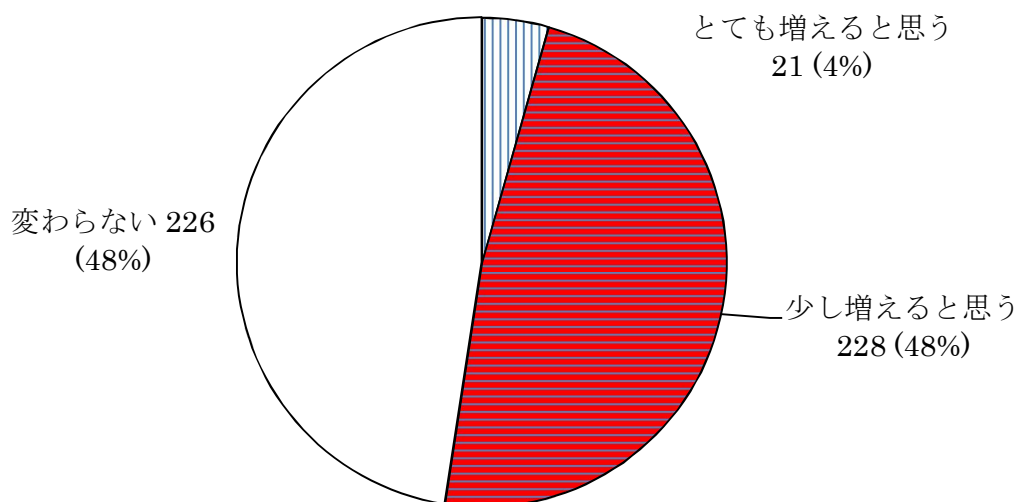
○あなたは、このポイント事業を知っていますか？ [N=482]



○あなたは、このポイント事業に参加したことがありますか？ [N=478]



○この事業を行うことで、あなたの魚を購入する量は変わるとお考えですか？ [N=475]



【設問別の傾向】

魚を食べる回数（量）が減っている最も多い理由は、「値段が高い」であるが、これに対して、「値下げする」ことは困難なものの、本事業を行うことによって「お得感を提供する」ことは可能かと思われる。

この事業を始めて今年度で第6回となるが、知っている人が約15%しかおらず、まだまだ周知不足であることが見て取れる。しかし、約50%強の人が魚の購入量が増えると感じていることから、本事業により魚の販売量の増加に一定の効果を期待することができる。

【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

全体の傾向は変わっていないが、前回のアンケートでは「参加してみたい」と答えた人が約55%であったのに対して、実際に参加したことがある人は約10%と少ないことが分かるが、改めて周知方法や協力店の増加等の課題が浮き彫りになった。